

市報

神戸市議会NEWS
ふれあいの垂水宣言
人とひとが支えあう社会を

藤原 武光

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161



新年度予算は神戸の将来を展望し、かつ市民の皆様方の期待に応える施策や事業となり得たか、膨大な事業予算、会派の集団の力で、予算審議に望んできた。(予算市会の日程は、2月19日～3月29日・当初予算規模は一般会計と特別会計及び企業会計の合計1兆7721億円)

特徴的な施策は、平成32年度を目標年次とする「神戸2020ビジョン」「神戸創生戦略」「神戸市行財政改革2020」が策定されその目標達成に向けたスタートの年となる。

要約すると、「神戸が選ばれるまち」として持続的に発展させること、そのため神戸経済の活性化と雇用の創出に取り組む施策が盛り込まれた。

平成28年度予算市会終わる・
人口減少社会の克服と

まちの成長戦略予算

新しい事業の挑戦も数多くあることから、入り口の戦略は整った形となっている。課題は5か年事業として、KPI(重要業績評価指標)が数値目標として明確化された。当然今後その目標に対して達成状況が明らかにされる。このことは即ち出口戦略の構想とビジョンが時代の先取りをしているか、また関係する市民と団体のニーズに沿っているのかなど。評価判断基準を、これからは議会側がチェック機能をより強化する任務があると痛感している。

質疑担当局・

産業振興局と消防局

1、産業振興局

米国シリコンバレーで、起業・創業支援プログラムとして取り組まれている「アクセラレーションプログラム」を神戸に日本初の誘致を行い、「デモデイ」に向けてエンターが支援し、プレゼンテーションの成功へと導くIITにおける起業支援が始まる。

●NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」が2016年10月から放映、神戸の子ども服メーカー「ファミリア」の創業者の一人である坂野惇子さんの人生がモデル。

この朝ドラを通じて「神戸」が全国に発信され、多くの方がまた「神戸」を再認

識して頂けるチャンスと言える。この間残念ながら、外国のクルーズ客船が神戸港についても、大阪・京都に差をつけられているのが現状。この朝ドラを都市戦略としての企画が問われている。秘策を期待したい。

2、消防局

●「救急安心センター」(仮称)設置がされる。高齢社会の進展とともに、119番救急通報が急増、救急体制の効果的な運用には、トリアージが必要と言われて来た。現場主義をモットーとしてきた救急にも限界が見えてきた。この「救急安心センター」機能は、救急の相談・案内など市民の救急に対する任務を果たすことを目的に設置される。

市政のご相談・問い合わせ先

自宅／神戸市会議員 藤原武光(事務所)
神戸市垂水区神陵台4-1-48-202
TEL 783-9806
FAX 785-6166

市会／民主こうべ政策議員団室
TEL 322-5844
FAX 322-6161